

福祉・介護職員等処遇改善加算に係る 職場環境等要件の取組について

重心型放課後等デイサービス きっずがれーじでは、福祉・介護職員等処遇改善加算を取得し、職員が安心して働き続けられる職場環境づくりと、支援の質の向上に取り組んでいます。

処遇改善加算における「見える化要件」に基づき、当事業所における職場環境等の取組について、以下のとおり公表します。

【入職促進に向けた取組】

- ・事業所の運営方針及び支援方針を明確にし、職員間で共有しています。
- ・年齢や経験等に限定せず、幅広い人材を対象とした採用を行っています。
- ・地域との交流やイベント等を通じ、事業所や障害福祉の取組を知っていただく機会を設けています。

【資質の向上やキャリアアップに向けた支援】

- ・業務に必要な研修への参加を促し、資格取得や専門性向上のための研修受講を支援しています。
- ・新任職員等が業務について相談できるよう、管理者・先輩職員等による相談・指導体制を設けています。
- ・職員が働き方や業務上の課題、キャリア等について相談できる機会を設けています。

【両立支援・多様な働き方の推進】

- ・職員の家庭事情や希望等を踏まえ、勤務日・勤務時間等を調整し、多様な働き方に対応しています。
- ・有給休暇を取得しやすい勤務調整や職場環境づくりに取り組んでいます。

【腰痛を含む心身の健康管理】

- ・業務上の悩みや勤務環境、メンタルヘルス等について相談できる体制を整えています。
- ・健康診断等の実施や適切な休憩の確保など、職員の健康管理に取り組んでいます。
- ・事故や緊急時等に対応するためのマニュアルを整備し、職員間で対応方法を共有しています。

【生産性向上のための取組】

- ・日々の業務や職員間の情報共有を通じて課題を把握し、業務改善につなげています。
- ・業務手順や記録・報告方法を整理し、情報共有の円滑化と業務負担の軽減に取り組んでいます。
- ・業務支援システムや情報端末を活用し、利用児童の情報、支援記録、連絡事項等を共有しています。
- ・職員ごとの役割や業務内容を整理し、支援業務に集中できる環境づくりに取り組んでいます。

【やりがい・働きがいの醸成】

- ・職員間で日常的な情報共有やミーティングを行い、勤務環境や支援内容の改善につなげています。
- ・地域との交流や行事等を通じて、利用児童が地域の方々と交流する機会を設けています。
- ・利用児童本位の支援方針や事業所の理念等について、職員間で共有・確認する機会を設けています。
- ・利用児童・ご家族から寄せられたご意見や支援の好事例等を職員間で共有し、支援の質の向上につなげています。

なお、当事業所の情報については、WAM NET「障害福祉サービス等情報公表システム」においても公表しています。